

「学力テスト」実態調査アンケート集計結果について

2018年9月12日

全日本教職員組合

1、調査の趣旨

全国学力・学習状況調査（以下「全国学テ」）は、2007年以降、2010・2011年を除き、悉皆調査として実施されてきました。各都道府県・市区町村においても、多くの自治体において同様の調査（以下、「自治体独自学テ」）が行われてきました。

この間、全国の多くの教職員や父母・保護者、教育関係者から、「全国学テ実施により、都道府県順位が示され、学校や教員が競わされている」「過去問題の指導などによって、本来の教育活動に支障が生じている」などの声が出されています。文科省も、2016年4月に「全国学力・学習状況調査に係る適切な取組の推進について（通知）」を発出し、「調査実施前に授業時間を使って集中的に過去の調査問題を練習させ、本来実施すべき学習が十分に実施できないなどといった声の一部から寄せられるといった状況が生じています」としています。

こうした状況をふまえ、全教は、「全国学テ」「自治体独自学テ」が、子どもたちと学校・教職員にどのような影響を及ぼしているのかを明らかにする必要があると考え、アンケート調査を実施しました。

2、アンケートの概要

- 調査期間：2018年4月から6月を設定
- 調査方法：全教・教組共闘連絡会が各都道府県組織を通じて各分会組織に依頼し、代表者が回答
- 調査事項：別紙アンケート項目
- アンケート回答について
 - ・回答総数 626校（小学校 381校、中学校 228校、その他 10校、無回答 7校）
 - ・回答のあった都道府県・政令市は 21都道府県・9政令市・228市区町村
 - ・校種の「その他」は、特別支援学校ほか

3、調査で明らかになったこと（要旨）

- (1) 全国悉皆調査と平均正答率の公表を可能としていることで、子どもも教職員も競争させられ、教育活動に歪みをもたらしている。
- (2) 4割を超える学校で、事前の特別な指導を行っている。そのうち、7割を超える学校で、過去問題の指導を行っている。また、4割を超える学校で、学力テストを想定した宿題を出している。
- (3) 1割を超える学校で、学力テスト実施により授業進度や学習単元の順を変更している。また、実施教科授業時間を増やし、実施しない教科の授業時間を減らしている学校がある。
- (4) 2割弱の学校で、平均点を公表している。
- (5) 「4月当初に実施することで、学級づくりや授業づくりに支障を及ぼしている」など、教育活動に大きな影響を及ぼしている。
- (6) 「独自採点・集計・分析など教職員に大きな負担となっている」など、教職員の長時間過密労働の要因のひとつとなっている。

4、調査結果について

(1) 全国学力・学習状況調査について

- ① 4割を超える学校で事前の特別な指導を行っている。小学校では、5割を超える学校で事前の特別な指導を行っている。濃淡はあるが、集計したすべての都道府県・市区町村で、事前の特別な指導を行っている学校がある。

【設問1-①】事前の特別な指導について、「ア 行った」が 44.4% (小学校: 52.0%)

- ② 事前の特別な指導の内容は、「過去問題の指導をした」「学テを想定した宿題を出した」が、高い割合で見られる。学力・学習状況を正しく把握することとならない。また、子どもたちの学習負担を増加させている。

【設問1-②】「どのような指導がおこなわれましたか」について

「ア 過去問題の指導をした」 73.0%

「ウ 学テを想定した宿題を出した」 40.6%

- ③ いくつかの各道県や市で独自に作成した学習資料を利用するなどの特別な事前の学習を行っている。それぞれの自治体が学力テスト結果(点数)を引き上げるために実施していると予想される。

【設問1-②】「どのような指導がおこなわれましたか」について、「オ その他」

・各道県、市独自の学習資料を作成し、活用(北海道、山形県、埼玉県、和歌山県、高知県、北九州市)

・民間業者作成の学習資料を利用

等

- ④ 2割弱の学校が平均正答率を公表している。学校ごとの序列化につながる危険性がある。

【設問2】「全国学力・学習状況調査実施後の結果の利用」について

「ア 学校の平均点が公表(ホームページや学校便り等で)されている」 18.4%

- ⑤ 文科省が委託した民間団体に送付し採点・集計を実施するが、1/3を超える学校で独自に、回答をコピーし自校採点・分析を行っている。事前の特別な指導を行っていることとあわせて、教職員の負担増となっている。

【設問2】「全国学力・学習状況調査実施後の結果の利用」について

「ウ 学校で解答をコピーし、独自に採点・分析している」 34.7%

(2) 各都道府県・政令市・市区町村独自の学力テストについて

- ① 3割を超える学校で事前の特別な指導を行っている。

【設問4-①】事前の特別な指導について、「ア 行った」が 34.3%

- ② 「全国学テ」と同様に、事前の特別な指導の内容は、「過去問題の指導をした」「学テを想定した宿題を出した」が、高い割合で見られる。子どもたちの学習負担を増加させている。

【設問4-②】「どのような指導がおこなわれましたか」について

「ア 過去問題の指導をした」 73.5%

「ウ 学テを想定した宿題を出した」 33.5%

(3) 全国学力・学習状況調査、各都道府県・政令市・市区町村独自学力テストの教育課程・教育活動等への影響について

- ① 多くの学校で、「全国学テ」、「自治体独自学テ」の実施が、教育課程や教育活動等へ大きな影響を及ぼしている。実施教科の進捗や学習単元の順を変更する、または、学力テスト実施教科に授業時間が偏重するなどの歪みをもたらしている。各学校での実態に合わせた各学校独自の教育課程編成を阻害していると言える。(小学校では、約12%の学校で実施教科の授業時間数を増やしている。中学校では、約15%の学校で授業進捗や単元順を変更している。)

【設問6】教育課程・教育活動等への影響

- 「ア 実施する教科の授業の進捗や学習単元の順を変更した」 11.5% (中学校14.9%)
- 「ウ 実施する教科の授業時間数を増やした」 9.3% (小学校、12.3%)
- 「エ 実施しない教科の授業時間数を減らした」 3.5%
- 「オ 出題傾向にそって、事前に指導をした」 22.5%

(4) 【設問7】「全国学力・学習状況調査及び、各都道府県・政令市・市区町村独自学力調査・テストを実施することで、子どもたちと教職員にどのような影響がありましたか」(自由記述欄の特徴)

- ① 学級・教科の平均正答率などの数値データのみで評価され、競争させられている。

- 「うちの学校は市内で最下位だから」などと子どもたちが言うようになった。「めざせ◇◇中(1つ上の順位の学校)！」などのスローガンで勉強させている中学校がある。(中)
- 町内の他校では授業返上で対策問題を熱心に行い、結果が全国上位だと自慢している学校があり、「ドーピング」と呼ばれている。(小)
- 子どもに「△△中はアホやろ」と自己肯定感をもてないような発言が見られる。(中)
- 平均点が低い学年・教科について、重点的に指導することが要求された。平均点にふりまわされる傾向がある。(小)
- 担任にとって平均点が全国より高いかのプレッシャーは大きい。少人数の学校や支援の必要な子が多い学級は平均を超えるのは困難。状況が考慮されず平均点の上下だけで判断されるのは相当プレッシャー。(小)
- 平均点がどれくらいの順位なのか気になる先生も。平均より高いと安心し、負けず嫌いの人は「○○中に勝ったとか、競争に毒されてきた。(中)
- 異様な緊張感がある。学校ごとの順位は出さないのかと保護者からの問い合わせあり。(小)
- 学力の結果をもとに市教委が各学校の学力担当者(教務)を集め、○○市の中で一番低いなどといって、具体的な学力向上のとりくみをするよう指導されてきた。(小)

② 児童生徒に大きな負担となっている。学習内容が定着していない児童生徒や学習習慣が定着していない児童生徒を追い込むものになっている。定期テストなどの習慣のない小学生にはとりわけ大きい負担となっている。

- 学習面でしんどい子の自尊心が傷つけられている。「こんな問題わからへん！」と荒れる子もいれば「どうせオレなんか何にもできひんねん。」と投げやりになる子もいる。(小)
- できない子には劣等感を増幅させる原因。1日中テストなんて小学生には負担。(小)
- 学力調査を繰り返すことで、「できない」と意識する児童が苦手意識を強めることになり、どんどん算数嫌いが増えている。(小)
- 学力的に課題をかかえている子、前日に大暴れ。当日も登校しぶる。問題文を十分に理解できないうえに質問もゆるされないで、2時間何もすることなくひたすらすわっているだけだった。全国学テに向けての予備練習のような形式であるのでテスト形式になれていないのであちこちで混乱状態。(小)
- 特に全国学力調査(B問題は特に)は難しく、下位の子どもにとっては何を聞いているのか、何を答えるのかさえ分からない。子どものやる気をなくしてしまう。(小)
- テストをおこなうことによって、できないという意識をさらにうえつける。競争意識を高めてしまうことは問題だと思う。(中)
- 今年は理科もあったので、1日検査となり児童にはとても負担があった。(小)
- 問題になれていないため、自信をなくす児童が多い。春の希望の雰囲気がいっぺんにふっとぶ。楽しい学校がみんなでつけれない。(小)
- 本来あるべき姿、楽しい授業とは程遠い。学習不振児にとっては相当の負担感があるだろう。この調査に何の意味があるのか。実態把握なら、抽出でもよい。全員全校は無意味。金も無駄！(小)

③ 年度当初の学級づくりや授業づくりに支障を及ぼしている。

- 年度初めの多忙な時期に大変な作業量が求められる。授業スタートが技能教科など一週間遅れた。(中)
- 年度始めの大切な時にテストづけで学びへの意欲がそがれる。特に6年は全国と市の2つもテストがあり大きな負担。(小)
- 6年生は4月のテストまでほとんど授業していない。5年生は夏休みの宿題が大幅に増えた。(小)
- 学年始め・学級開きのときにやらなければならない調査が多すぎる。(小)

④ 学校独自の採点・集計・分析は教職員に大きな負担となっている。

- 処理作業が増えることで、教員の多忙化につながっている。(中)
- 採点入力作業に大変な時間を費やした。インフルエンザで休み中に作業した。(小)
- 勤務時間外に採点・入力する。入力を5月2日までに求められ多忙化に拍車。(中)

⑤ 少数だが、学習課題や学力の弱い面を発見できるとする記述もある。

- 分かる子にとっても、分からない子にとっても、力試しという面では非常に良いものだと思う。しかし、理解するという面では、しんどい子も居るように感じる。難しいと言っている子が多い。(小)
- 子どもの苦手な部分を見つけるのに役立った。自分の力の定着の目安になる。(小)
- 子どもたちの弱いところがわかり指導に役立った。授業時数に影響が出る。(中)

5、その他

(1) 全国学力・学習状況調査英語抽出調査についての聴き取りを実施

○ テスト時の生徒の様子について

- ・生徒同士が隣または向かい合ってテストを受けるので、視線が気になり集中できない。
- ・スピーキングの答えが聞こえてしまい、真似して答える生徒がいた。
- ・PCの使い方の説明をしたが、いざテストを始めると、音声に従ってどんどんテストが進むので、混乱してクリックできず、答えはわかっているにもかかわらず答えられない生徒がいた。

○ 準備等について

- ・PC準備が放課後からしか開始できず、また、PCに詳しい先生がいないと難しい。テスト後のデータ取り出しも、4人で行い18:00までかかった。

以上

「学力テスト」実態調査アンケート集計結果資料

【全国学力・学習状況調査について】

設問 1 2018 年度全国学力・学習状況調査を実施するにあたっての、事前の特別な指導についてお尋ねします。

該当する項目の記号に○をつけてください。

①事前に特別な指導を行いましたか。

ア：行った

イ：行っていない

	小学校	中学校	全体
ア	52.0%	32.9%	44.4%
イ	41.7%	66.7%	50.8%
無回答	6.3%	0.4%	4.8%

②①でア：「行った」を選択した方へ。どのような指導が行われましたか。（複数可）

ア：過去問題の指導をした。

イ：全国学力・学習調査を想定した授業を行ったり予想問題を作成して指導した。

ウ：春休みや4月に全国学力・学習調査を想定した宿題を出した。

エ：放課後等に補習を行った。

オ：その他（下の枠内に書いてください。）

	小学校	中学校	全体
ア	73.7%	72.0%	73.0%
イ	15.7%	10.7%	14.0%
ウ	42.9%	34.7%	40.6%
エ	11.1%	6.7%	9.7%
オ	11.6%	12.0%	11.5%

「オ その他」

- ・各道県、政令市独自の学習資料を作成し、活用（北海道、山形県、埼玉県、和歌山県、高知県、北九州市）
- ・民間業者作成の学習資料を利用
- ・前年度3学期に想定した学習を行う
- ・4月新学期後、学テまで特別な指導を行う 等

設問 2 これまでの全国学力・学習状況調査実施後の結果の利用について、該当する項目の記号に○をつけてください。（複数可）

ア：学校の平均点が公表（ホームページや学校便り等で）されている。

イ：学級ごとの平均点が公表（ホームページや学校便り等で）されている。

ウ：学校で解答をコピーし、独自に採点・分析している。

エ：独自に採点はしていないが、分析している。

オ：学校独自の利用はおこなっていない。

	小学校	中学校	全体
ア	17.6%	20.6%	18.4%
イ	1.3%	0.4%	1.0%
ウ	37.8%	30.7%	34.7%
エ	31.2%	30.3%	30.7%
オ	12.6%	26.8%	17.7%

【各都道府県・政令市・市区町村独自の学力調査・テストについて】

設問 3 実施自治体・学年・教科・回数等について、下の表に記入してください。

実施自治体	実施学年	実施教科	年間実施回数

	独自学テを実施している		独自学テを実施していない	
	小学校	中学校	小学校	中学校
都道府県数	11	14	10	7
政令市数	4	4	2	2
市区町村数	88	61	89	73

* 「実施していない」には、「質問紙のみ実施」「数年に1度程度」を含む

設問4 各都道府県・政令市・市区町村独自の学力調査・テストを実施するにあたっての、事前の特別な指導についてお尋ねします。該当する項目の記号に○をつけてください。

①事前に特別な指導を行いましたか。

- ア：行った
イ：行っていない

	小学校	中学校	全体
ア	36.7%	30.7%	34.3%
イ	38.3%	50.4%	43.0%
無回答	24.9%	18.9%	17.7%

②①でア：「行った」を選択した方へ。どのような指導が行われましたか。(複数可)

- ア：過去問題の指導をした。
イ：学力調査を想定した授業をおこなったり予想問題を作成して指導した。
ウ：各都道府県・政令市・市区町村独自の学力調査を想定した宿題を出した。
エ：放課後等に補習を行った。
オ：その他(下の枠内に書いてください。)

	小学校	中学校	全体
ア	77.1%	64.3%	73.5%
イ	21.4%	20.0%	20.9%
ウ	37.9%	25.7%	33.5%
エ	15.7%	7.1%	12.6%
オ	10.7%	12.9%	11.2%

「オ その他」

- ・夏休み学習会をもって指導した
- ・春休みに計算や漢字のプリントを出す
- ・県教委、市教委作成シートを配布、総合の時間でとりくむ
- ・朝自習時間に学力調査に向けてプリント学習
- ・今年度より週1回45分の補習がある
- ・「学力補充」という時間が月に1回程度あった 等

設問5 各都道府県・政令市・市区町村独自の学力調査・テスト実施後の結果の利用について、該当する項目に○をつけてください。(複数可)

- ア：学校の平均点が公表(ホームページや学校便り等で)されている。
イ：学級ごとの平均点が公表(ホームページや学校便り等で)されている。
ウ：学校で解答をコピーし、独自に採点・分析している。
エ：独自に採点はしていないが、分析している。
オ：学校独自の利用はおこなっていない。

	小学校	中学校	全体
ア	10.2%	15.4%	12.0%
イ	1.3%	0.9%	1.1%
ウ	31.0%	23.2%	27.8%
エ	26.2%	26.8%	26.7%
オ	7.6%	15.4%	10.5%

【全国学力・学習状況調査及び各都道府県・政令市・市区町村独自の学力調査・テストについて】

設問6 全国学力・学習状況調査及び各都道府県・政令市・市区町村独自の学力調査・テストを実施することで教育課程や教育活動等にどのような影響がありましたか。下の該当する項目の記号に○をつけてください。

(複数可)

- ア：実施する教科の授業の進度や学習単元の順を変更した
イ：実施する教科の学習内容を変更した
ウ：実施する教科の授業時間数を増やした
エ：実施しない教科の授業時間数を減らした
オ：出題傾向にそって、事前に指導をした
カ：その他(下の枠内に書いてください。)

	小学校	中学校	全体
ア	9.4%	14.9%	11.5%
イ	6.6%	6.6%	6.4%
ウ	12.3%	4.8%	9.3%
エ	4.7%	1.8%	3.5%
オ	25.5%	18.4%	22.5%

設問7 全国学力・学習状況調査及び各都道府県・政令市・市区町村独自の学力調査・テストを実施することで、子どもたちや教職員にどのような影響がありましたか。なるべく具体的に記入してください。

* 『学力テスト』実態調査アンケート集計結果について」に、抜粋して掲載